

[いすゞ] エンジン DPD 強制再生（特殊機能選択時の場合）

概要

DPD 強制再生は以下の場合に行います。

- DPD フィルタに一定量の PM が堆積して、PM を燃焼する必要がある場合
- DPD フィルタ等の状態を確認する場合

手順/操作

注意：

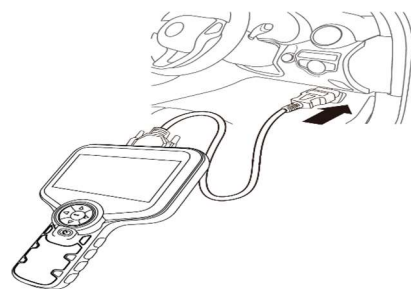
- 「特殊機能」より DPD 強制再生を行う際は、DPD 関連の故障コード読取・消去関連データ表示、DPD データリセットを自動的にスキャンツールが行います。よって、自動処理の出来ない故障コードやデータリセットが検出された場合、DPD 強制再生モードが中断され強制再生が出来ません。その際は通常メニューの「診断」・「車両選択」・「エンジン」・「故障コード読取」「作業サポート」より手動にて作業を行って下さい。

参考：

- シフトレバーを P レンジ(AT 車)またはニュートラル(MT 車または、P レンジのない AT 車)の位置にし、パーキングブレーキをかけます。
- エンジンをアイドリング状態にし、アイドリングコントロールノブによってエンジン回転数を上げている場合は、左いっぱいに戻してエンジン回転数を下げて下さい。
- アイドリングストップ装着車は、アイドリングストップスイッチを「OFF(解除)」にします。
- PTO 装着車は、PTO 作動を停止させます。

1.

イグニッションスイッチを OFF 位置にした後、ダイアグコネクタに TPM-5 を接続します。本体の電源が入らない場合、シガーライターケーブルを接続します。その後、イグニッションスイッチを ON にします。



2.

『TPM-5 メニュー』画面から
〔特殊機能〕を選択して〔ENTER〕を
押します。



3.

『特殊機能』画面から

〔DPF〕を選択して〔ENTER〕を

押します。



『DPF』画面から

〔いすゞ〕⇒〔DPF点検〕を選択して

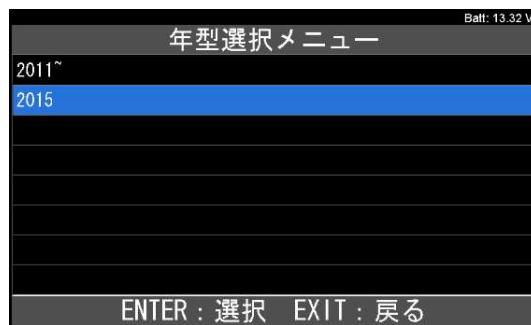
〔ENTER〕を押します。

以降、車両選択⇒装備品選択を行って下さい。



4.

1.



2.



3.



4.

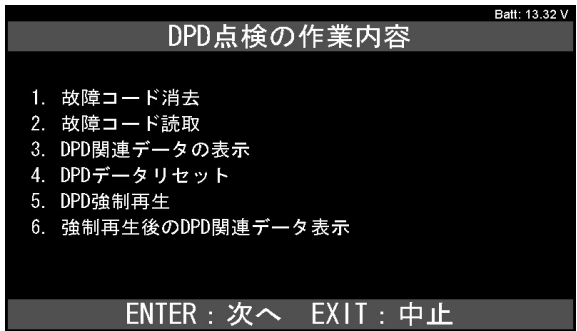
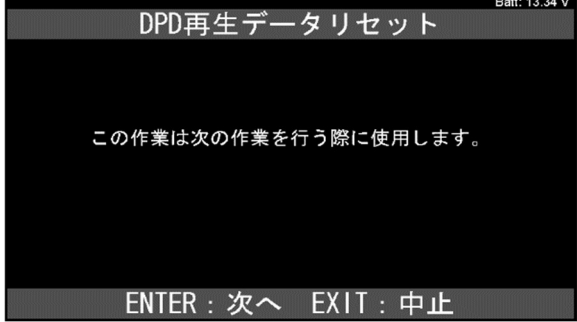


5.



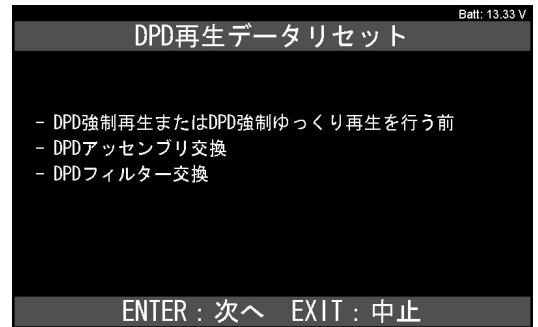
6.



5.	『DPD メニュー』画面から 〔DPD 点検モード〕を選択して 〔ENTER〕を押します。	
6.	『DPD 点検モード』画面で 〔DPD 点検モードを開始します〕が表示された 事を確認して〔ENTER〕を押します。	
7.	『DPD 点検の作業内容』画面が表示されます。 内容を確認して〔ENTER〕を押します。	
8.	『DPD 関連データモニタ』画面が表示 されます。表示内容を確認して【次へ】 を押します。	
9.	『DPD 再生データリセット』画面が表示 されます。内容を確認し〔ENTER〕を 押します。	

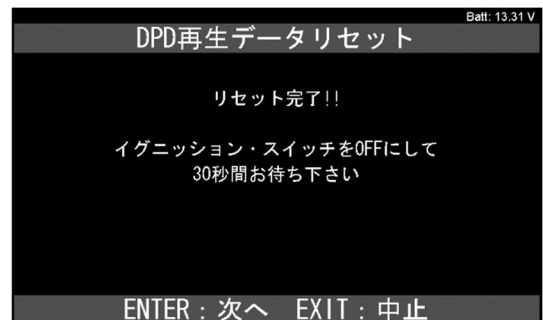
10.

表示内容を確認し [ENTER] を押します。

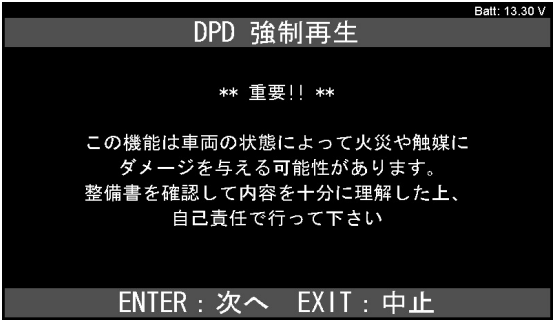


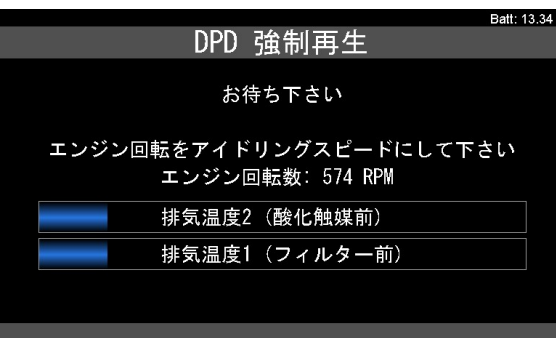
11.

表示される指示通りに操作を行い
[ENTER] を押します。



※ 特殊機能から『DPD 強制再生』を行う際、自動的に消去の出来ない故障コードがあります。
消去のできない故障コードが検出されると、特殊機能が中断されます。
その後、通常メニューの診断よりお進み頂き故障探求が必要となります。

12.	『DPD 強制再生』画面が表示されます。 表示内容をご理解頂き、順守頂きながら [ENTER] を押します。	
13.	表示内容を確認し [ENTER] を押します。	
14.	表示される指示通りに操作を行い [ENTER] を押します。	 

15.	1.		2.	
	3.		4.	
	5.		6.	
	16.	〔再生完了〕が画面に表示され [ENTER] を押します。		

参考： 強制再生は約 30 分ほどかかります。

車両、年式またはエンジン型式で浄化判定のエンジン回転数の指示が変わります。

注意： 排気温度が 8 割以上の高温になりましたらエンジンを停止し、DPD 再生を中止して下さい。

(ゲージが右いっぱいにある状態が 1000℃になります)

17.

『DPD 関連データモニタ』画面が再度表示されます。表示内容を確認して「終了」を押します。

DPD関連データモニタ	
エンジン回転数	574 RPM
DPD排気差圧	0.00 kPa
排気温度2(酸化触媒前)	140 °C
排気温度1(フィルタ前)	140 °C
終了 データ保存 印刷	

18.

『DPD 点検モード』画面で【全ての作業が完了しました。】が表示された事を確認してから [ENTER] を押します。

DPD点検モード	
全ての作業が完了しました。	
ENTER/EXIT : 終了	

19.

《 冷却 》

全ての作業が完了した後、再度『DPD 関連データモニタ』を表示し（1～5 の手順）

【排気温度 1】が下記の表に書かれている温度以上の場合、アイドリング状態(下記のエンジン回転数)でエンジンを冷却して下さい。(アイドリングコントロールスイッチを使用して上げます)

車種	エンジン型式	排気温度 1 (フィルタ前)	エンジン回転数
エルフ	4HL1(NA)	180 °C	1500 rpm
	4HK1-TC	150 °C	1500 rpm
	4JJ1-TC	140 °C	1500 rpm
フォワード	4HK1-TC	150 °C	1500 rpm
	6HK1-TC	100 °C	1000 rpm
ギガ	6UZ1-TC	120 °C	1000 rpm
	6WG1-TC	100 °C	1000 rpm
エルガ	6HK1-TC	100 °C	1000 rpm
エルガミオ	6HK1-TC	100 °C	1000 rpm
	4HK1-TC	150 °C	1500 rpm

以下の場合はエンジンオイルを交換して下さい。

参考：

- エンジンオイル量を点検し、エンジンオイルの量が多い場合。
- DPD 強制ゆっくり再生完了後。

エラー

通信に失敗すると、右の画面が表示されます。

整備書で条件などを確認して、
もう一度行って下さい。

